

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	犬山市における下水道防災・安全対策の推進（防災・安全）（重点計画）												
計画の期間	平成29年度～令和03年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	犬山市												
計画の目標	総合地震対策計画に基づいた、下水道施設の耐震化を推進し、安全で安心なまちを創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	296	A	290	B	0	C	6	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	2.02	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 H27末	中間目標値	最終目標値 R03末
1	①重要施設の耐震化達成率を52%（H27末）から、74%（R03末）に増加させる。 ①下水道施設における重要施設の耐震化達成率 耐震化対策済み延長（m）／重要施設延長（m）	52%	%	74%
2	②避難所のマンホールトイレ整備率を18%（H27末）から、73%（R03末）に増加させる。 ②避難所のマンホールトイレ整備率 整備済みマンホールトイレ数（基）／総合地震対策計画で設定したマンホールトイレ数（基）	18%	%	73%
3	③避難所のマンホールトイレ整備箇所における関係資機材整備率を18%（H27末）から、73%（R03末）に増加させる。 ③避難所のマンホールトイレ整備箇所における関係資機材整備率 整備済みマンホールトイレ用資機材数（組）／総合地震対策計画で設定したマンホールトイレにおいて整備すべき関係資機材数（組）	18%	%	73%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																			
基幹事業 (大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名	事業内容	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接				(事業箇所)	(延長・面積等)		H29	H30	H31	R02	R03			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	犬山市	直接	犬山市	管渠 (改築	下水道総合地震対策 (地	管きょ可とう化 L=11, 555m	犬山市	■	■	■	■	■	250		—
		総合地震																	
	A07-002	下水道	一般	犬山市	直接	犬山市	管渠 (新設	下水道総合地震対策 (地	マンホールトイレ整備 N=25	犬山市	■	■	■	■	■	40		—
		総合地震																	
										小計						290			
										合計						290			

C 効果促進事業																				
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H29	H30	H31	R02	R03				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	C07-001	下水道	一般	犬山市	直接	犬山市	管渠（	新設	地震時緊急対応資機材整備（地震対策）	マンホールトイレ用資機材 N=25組	犬山市	■	■	■	■	■	6	—		
		基幹事業であるマンホールトイレ整備と合わせて関係資機材を整備することにより、避難所でのトイレ機能を確保することができ、公衆衛生の向上に寄与する。																		
		総合地震																		
											小計						6			
											合計						6			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

犬山市下水道課において事業効果の発現状況及び目標値の達成状況を検証し、今後の方針等について検討した。

事後評価の実施時期

令和4年6月

公表の方法

市公式ホームページ

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

・第2次犬山市下水道総合地震対策計画に基づく下水道施設の耐震化の推進及びマンホールトイレの整備により、安全で安心なまちの創造をすすめることができた。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

・整備予定箇所については完了。今後は未整備箇所について検討していく。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	74%
	最終実績値	74%
重要施設の耐震化達成率を52%（H27末）から74%（R03末）に増加させる。		
2	最終目標値	73%
	最終実績値	73%
避難所のマンホールトイレ整備率を18%（H27末）から73%（R03末）に増加させる。		
3	最終目標値	73%
	最終実績値	73%
避難所のマンホールトイレ整備箇所における関係資機材整備率を18%（H27末）から73%（R03末）に増加させる。		

様式3 (参考図面)

計画の名称	犬山市における下水道防災・安全対策の推進 (防災・安全) (重点計画)		
計画の期間	平成29年度 ~ 平成33年度 (5年間)	交付対象	犬山市

